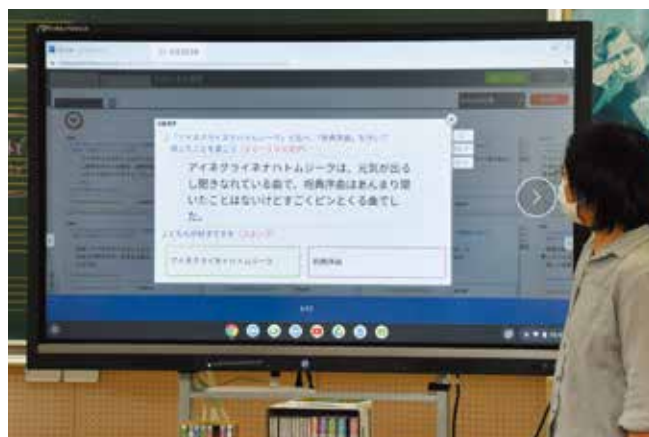


## 主体的・対話的で 深い学びの充実



タブレットPCや電子黒板を活用すると、問題や課題を大きく映し出し、注目したい箇所を大きくしたり、色を付けるなど強調させたりすることができます。また、児童生徒の意見や考えを瞬時に電子黒板に映し出し、比較したり、検討したりしながら多様な意見に触れ、新たな気づきを共有することができます。さらに、画面を保存して次の授業で再び利用することで、学習の振り返りがスムーズになります。ICT活用を通して、児童生徒の主体的・対話的で深い学びの充実を図っています。

※3…アプリ：特定の目的をもって作られた専用のソフトウェアのこと

## 教育実践の蓄積とICTの ベストミックス



児童生徒の机上には、従来の教科書とノート、筆記用具と並んで、これからはタブレットPCが加わります。ICT活用は目的ではなく、手段です。学校では、これまでの教育実践の蓄積とICTのベストミックスを図り、児童生徒一人一人が持つ力や可能性を最大限に引き出せるよう学習活動の一層の充実や授業改善を目指しています。

※4…情報モラル：情報社会を生きるために必要な態度や考え方

子どもの力を**最大限**に

## 引き出すICT教育

本市では、昨年度から各学校における高速大容量の通信ネットワーク整備と児童生徒用タブレットPCの配備のほか、教員用タブレットPCや電子黒板、学習用アプリ<sup>※3</sup>やデジタル教科書の導入などの準備を進め、今年度より本格的な運用が始まっています。

## 一人の百歩より、みんなの一步

各学校では校内研修の取組としてGIGAスクール構想に関する理論研修やタブレットPCの操作研修などを自主的に実施しています。7月には、学校から教員が集まり研修を行いました。「一人の百歩より、みんなの一步」を合言葉に、子どもたちのために教員たちも日々努力をしています。



## 体系的に学習を積み重ねています

タイピング入力難しいような小学校低学年の児童でも、学習用アプリを使えば文字の手書き入力ができます。児童生徒の発達段階に応じ、小さい頃からタブレットPCの扱いに慣れたり、情報モラル<sup>※4</sup>・セキュリティについて学んだりして体系的に学習を積み重ねていけるよう取り組んでいます。

